

第 4 回（10/29） 教育 1 ——校則と自由

1. BBS 投稿から

「タトゥーを入れている人が怖いという考え方が古い気がする。いまだき誰でも入れているし、アクセサリー感覚で取り入れているものだから、「タトゥーは怖い」という考え方がなくなればいいと思う。」

「タトゥーは怖いものと認識してしまうところを変えていくべきだと思う…。」

「…この前 NHK でオリンピックに向けての特集がやっていたのだが、とある国ではタトゥーを入れることが民族として当たり前、それが成人の証等様々な事情があることもある。しかしそのタトゥーを見て怖がってしまう人がためオリンピックの時は日本のマナーとして隠して下さいとの決まりが出来たとか。それも如何なものかと思う。日本のマナーに合わせて欲しいことはあるけれど海外から来た人は窮屈に感じる気もする。日本はタトゥーと言う文化に向いてる国では無いと思うので決まりを作る事が一番平和に解決するとは思うのだが、何だか決まりを作るまでタトゥーって悪いものじゃ無いのには思ってしまうし、タトゥーを嫌う人に作られた決まりなんて守りたいとは思えない…。」

「隔離政策の意見に賛成します。お酒だったりタトゥーだったり、自分が好きでも他の人に迷惑かかってしまうことは、それが好きな集団だけが集まれる場所を作るべき。そうすれば、好きなことを否定されることもなく、迷惑がる人は不快に思うことなく過ごせると思う。」

「最初はタトゥー禁止条例に反対だったが、話し合っているうちにどっちがいいのか分からなくなった。」

「個人的にはタトゥーに対する偏見はないと考えていたけど、一般的な日本人の立場に立ったらやはり第一印象で決まってしまうような傾向にあるため、簡単に賛成・反対を決めるのが難しいと感じた。」

「誰もが自由という権利はあるが項目によって(議題であったタトゥーなど)誰もが許せるとは思えないという観点で意見をだしてもそれに対して反対の立場の言い分も聞くので話がまとまらなくなってしまった。」

「…ディスカッションを通してたくさんの人の意見を聞くことができ刺激を受けたけれど、聞けば聞くほど、どうすればいいのか分からなくなるばかりだった。」

「今回はタトゥー禁止令に賛成か反対かという議論を行った。私自身は賛成としたが、話し合う内に賛成意見より反対意見を多く述べていて、「実は賛成ではなく反対なのではないか？」と、今まで思い込みや先入観で物事を考えていることに気づいた。」

「タトゥーが怖いと思う人もいるし全く平気な人もいるのは当たり前だから、両者が納得できる条例や規則を誰かが決められるとは思えない。公共の場だということを考えお互い思いやるしかないとしか言えない。」

「タトゥーを完全に禁止する必要はないと思う。ただ不快に感じている人がいるなら、隠すなどの配慮は必要。車内での行為に関しても、公共のものだから他者への配慮をするべき…。」

「…今回の話題を通じて、自由から生まれる不自由があるのだと改めて感じた。自由であることは良いことだろうけど、行き過ぎれば無秩序になりえる。無秩序にしないためにも、思いやりが大切なのだと強く思った。」

「権利は誰にでもあるが、いくら人の自由が認められているから、好きだからといって誰かの自由が他人に不快、迷惑な思いを与えるならするべきではないと思う。だが、その価値観は一人一人違うものであり、誰もが納得の

いく線引きをすることは非常に難しいことだと感じる。このような問題ではどんなルールにしたとしても我慢や損をする人が誰かしら出てきてしまうのではないかと感じてしまった。」

「車内における迷惑行為に関して、条例を出す以前に自分以外の他者や社会全体に対しどのような影響を持つのかという認知を広めるべき」

「電車内でうるさくしないとか香水はつけすぎないとかはモラルの問題であってあまりはっきりとは決められていないけどなんとなくわかってて気をつけられるのが日本なんだった。子供の頃から教え込まれてるからモラルの基準とかは考えたことがなかった。」

「タトゥー問題について賛否両論の議論が行われたが、どんどん掘り下げて行くうちに「公共性とは何か？」に直面してしまった。個人の価値観や考えた方によっては公共性は保たれないのではないかと感じた。それぞれの公共の場のルールの捉え方から考えてしまえば、それはもはやずっとグレーゾーンの問題なのかもしれない。タトゥー問題で「海に活気を取り戻したい」と考えるのならば、まずその公共性ということについて深く考えていかなければならないのだと思う…。」

「私も含め、ほとんどの人の意見が自由だし、偏見を抱いてはダメだということだったけど、その中には本当にタトゥーの大きさや、範囲、絵柄など事細かな考えるべき課題があり、あげくには自由と公共性という大きな問題で、一見簡単な問題であると思ったけど実際には自分の感情だけでは解決できない本当に大きな問題なんだなと思った。」

ほか多数

過去の投稿から

「タトゥー問題についてディスカッションした時に、自分の世代の問題だし最近よく TV でも取り上げられているので少し熱くなりました。一人一人違うのはもちろんわかっているけど、「タトゥーを入れている人」「タトゥーを入れてない人」「若者」と全部ひとくくりに見られているのは腑に落ちないけれど私たち自身も「おじさん」「おばさん」とひとくくりに見てしまうし、外見から入ってしまうのはしょうがないことなのかなと思いました。」

「今回のディスカッションでは、自分の主観や価値観だけで物事を考え発言するのでは無く客観的に考え〇〇だから私は反対だ、〇〇であるから私は賛成だと言った議論の仕方をする事が大切なのを改めて感じる事ができました。」

「私は、自分が都合のいい時だけ自由や権利を主張していることに気づいた。多角的、複眼的に物事を捉えることができればならない。議論を行う上で、これらができない人が存在すれば、話が進まない。」

「毎回この講義の終わりには、なぜそう言えるのか、なぜそう思うのかを考えることは簡単であり難しくもあり、奥深いなと実感します。また、ディスカッションの場面で自分自身の意見を整理してわかりやすく相手に伝えられるようになるには積み重ねが必要であると感じました。そのためにも日常生活で「なぜ」を大切に過ごしたいと考えました。」

2. 教育 ——校則と自由

3. 引用・参考文献

MSN マネー ニュース・コラム「医学部合格 110 名、巣鴨はゆとりの真逆を行く 巣鴨学園 堀内不二夫校長に聞く」
(<http://money.jp.msn.com/news/toyokeizai-online/>, 2013/01/05)
東洋経済オンライン「麻布生は中 1 から領土問題を論じます 麻布学園 氷上信廣校長に聞く」
(<http://toyokeizai.net/articles/-/11916>, 2013/01/05)

4. 次回の予告

11 月 5 日 教育 2 ——学びからの逃走

以 上

【授業 HP】 <http://t-enomoto.la.coocan.jp/komajo/>

【BBS】 <http://9021.teacup.com/tenomoto4/bbs>

強制されなければ、人は努力をしない
自由放任でも、人は努力をする

論点

